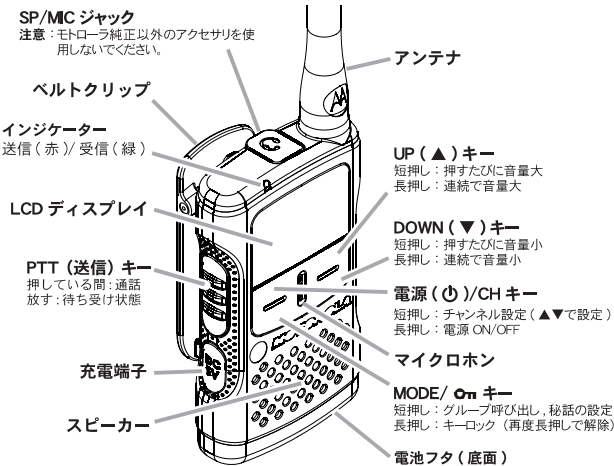


このたびはモトローラの特小電力トランシーバー CL08 をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用される前に別紙の「製品の安全性と電磁波による影響」および「安全上のご注意」、このクイックマニュアルを必ずお読みください。

このトランシーバーは国内専用モデルで、海外では使用できません。

各部の説明



LCD ディスプレイ



A. コールバック使用時に点灯 “圏内”が点灯（通話可能） “圏外”が点灯（通話不可）	F. 電池残量表示
B. 送信時に表示	G. オートパワーオフ表示 オートパワーオフをONにすると点灯
C. 受信時に表示	H. 秘話モード時に表示
D. ロック表示	I. 3分間通話中表示
E. 中継チャンネル表示 中継チャンネル時に点灯	J. チャンネル番号表示
	K. セットメニューの表示
	L. グループ番号表示

基本的な使いかた

CL08には、周囲の状況に応じて選べる3つの通話モード（ノーマル、グループ呼び出し、秘話）があります。通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは基本となるノーマルモードの通話方法を説明します。グループ呼び出しモードと秘話モードは裏面を参照してください。

**1. 電源を入れる**  
[⏻/CH]を長押しする。  
「ピ」と電子音が鳴ります。

**4. 押しながら話す**  
[通話 (PTT)]を押しながらマイクに向かって話す。  
・ディスプレイに「送信」と「通話」が表示されます。  
・[通話 (PTT)]を放すと、待ち受け状態になり相手の音声聞くことができます。

チャンネル表示

**2. チャンネルをあわせる**  
[⏻/CH]を短押しして、チャンネル設定モードにする。チャンネルが点滅している間に[▲]または[▼]を押して、相手と同じチャンネルにする。

**3. 音量を調節する**  
相手の音声を受信しているときに[▲]または[▼]を押して音量を調節する。

**チャンネルの設定方法**

[⏻/CH]を単押し（チャンネル設定モード）

チャンネル番号が点滅している間に[▲]または[▼]を押す

**補足：**

- 連続して通話できる時間は3分以内で、その間ディスプレイに「通話」が表示されます。3分間連続して通話続けると、送信は自動的に停止します。なお、送信が停止する30秒前になると、ディスプレイに数字でカウントダウンが表示され、送信が停止する10秒前には、「ビビビ」と警告音が鳴ります。また、送信が停止した場合、その後の2秒間は「通話 (PTT)」を押しても「ブープブープ・・・」と警告音が鳴り送信できません。
- 他局の信号を受信しているときは、送信できません。ディスプレイに「受信」が表示中、「通話 (PTT)」を押しても「ブープブープ・・・」と警告音が鳴り送信できません。

**注意**

- 当社製機器は、カタログのリストに掲載されるモトローラ純正アクセサリを必ず使用してください。純正品以外のアクセサリを使用すると故障や破損の原因になります。当社純正品以外のアクセサリの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- ニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) は純正アクセサリをご使用ください。純正品以外のニッケル水素充電電池を使用すると漏液・発熱・破裂・発火の原因になります。
- アクセサリのヘッドセットを接続する時は音量を最小にしてください。[▼]キーで音量を最小レベルに設定してから接続してください。音量を上げた状態で接続すると聴力障害の原因になったり、ヘッドセットを破損する可能性があります。
- アクセサリのヘッドセットを接続する時は、本体のPTTを押してもヘッドセットのマイクが有効になります。

電池の入れ方 / 出し方

電池を入れる（または電池を出す）

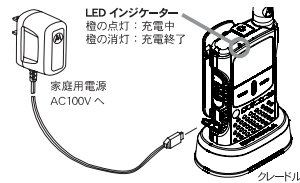
- 裏面フタのロックを外しフタを開けます。対応電池：アクセサリのニッケル水素充電電池 (PMNN4467A)、市販の単三形アルカリ乾電池 / 単三形リチウム乾電池
- 電池をマイナス側から入れます。
- フタを閉め、元の状態に戻します。
- 電池を出す時は上記と同様にフタを開け、取り出してください。



ニッケル水素充電電池の充電方法 ～約4時間充電～

ニッケル水素充電電池を充電する

- ケーブルにCL08を差し込みます。
- CL08の電源を切ります。
- CL08の側面にACアダプターを接続します。
- 充電が開始するとCL08のインジケータが橙色に点灯しディスプレイに「充電」が点滅します。充電時間はニッケル水素充電電池の残量によって変化します。充電が終了するとCL08のインジケータが消灯しディスプレイに「FULL」が表示され「充電」が点滅します。充電が終了後ACアダプターを外してください。



使用時間の目安

使用できる時間の目安は次のとおりです。

- アクセサリのニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) ⇒ 約33時間
- 市販のアルカリ乾電池 ⇒ 約25時間（日本製の場合）
- 市販のリチウム乾電池 ⇒ 約45時間（日本製の場合）

※ 6秒送信、6秒受信、48秒待ち受けの測定条件になります。上記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

電池残量はアイコン表示で知らせます。

- [電池アイコン] ⇒ まだ使えます。
- [電池アイコン] ⇒ 少なくなりそうです。
- [電池アイコン] ⇒ 残りわずかです。
- [電池アイコン] ⇒ すぐに充電してください。（またはアルカリ乾電池を交換してください。）

**補足：**アクセサリのニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) について

- ニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) はアクセサリです。仕様によってはACアダプターと同梱されているパッケージがあります。
- 初めて使用するときは、必ず充電してください。
- 充電完了後、本体及び電池が温かくなっていますが、異常ではありません。
- 充電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せず保管しておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 長期間保管した場合は電池容量が低下していることがあります。必ず充電してから使用してください。
- 正しい充電を行っても使用できる時間が短くなってきた場合はニッケル水素充電電池の寿命です。新しいニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) をお買い求めください。
- 不要になったニッケル水素充電電池は、大変危険ですので分解しないでください。端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。

**注意：**

- CL08にエラー (Er) 表示された場合は「取扱説明書（詳細版）」を参照し、エラー内容を確認してから正しい使用方法で充電してください。
- 正常な電池を入れても充電できない場合には、充電ケーブルを外し、しばらく経ってから充電して下さい。
- ときどき電池ケースの端子と電池の電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。
- 端子や電極が汚れていると、接触不良となり正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。
- 電池を交換するときは、電源を切ってください。
- 長時間使用しない場合は、ニッケル水素充電電池 (PMNN4467A) または乾電池を取り外しておいてください。
- 充電機能は、5℃～35℃で動作します。
- ニッケル水素充電電池 (PMNN4467A)、単三形アルカリ乾電池または単三形リチウム乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。故障や火災の原因になります。

キーをロックする

誤ってキーに触れても、設定が変わらないようにすることが出来ます。ロック中は下記の操作のみ可能です。

- ・音量調節
- ・通話 (PTT)
- ・電源オフ

**■ロックする**  
[MODE / Om]を約1秒以上押し続けます。  
「ビビ」と鳴ってキーがロックされ、「Om」が点灯します。

**■ロックを解除する**  
再度 [MODE / Om] を約1秒以上押し続けます。  
「ブブ」と鳴ってキーのロックが解除され、「Om」が消えます。

一時的にモニターをする

- モニターにする**
- [⏻/CH]を長押しして、電源を切る。
  - [▼]を押しながら[⏻/CH]を長押しして、電源を入れる。
- モニターを解除する**  
一度電源を切り、再度[⏻/CH]を長押しして、電源を入れる。

キー操作早見表

キー	動作
[⏻/CH]	短押し：チャンネル設定モード (▲▼で設定) 長押し：電源のON/OFF
[MODE / Om]	短押し：通話モードの切り替え（グループ、DCS、秘話） 長押し：キーロック
[▲]	短押し：ワンステップ音量大 長押し：押し続けている間音量大
[▼]	短押し：ワンステップ音量小 長押し：押し続けている間音量小
[MODE / Om] + [⏻/CH]	セットメニューの操作
[▲] + [⏻/CH]	中継機能チャンネル追加
[▼] + [⏻/CH]	モニター機能
[▲] + [▼] + [MODE / Om] + [⏻/CH]	オールリセット
[▲] + [MODE / Om]	グループ呼び出しモード / DCSモードの設定

お問い合わせ先 ..... 03-6365-7000  
ホームページ ..... <http://motorolasolutions-pcr.jp/index.php>

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。モトローラ、MOTOROLA、モトローラ・ソリューションズ、MOTOROLA SOLUTIONS およびモトローラのロゴマークは Motorola Trademark Holdings, LLC. の登録商標であり、そのライセンスに基づき使用されています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。クイックマニュアルの最新情報は、上記URLを参照してください。QRコードで弊社ホームページへ移行できます。

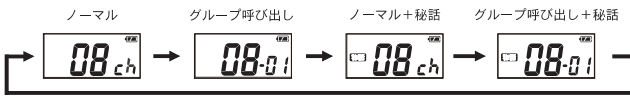
## 通話モードの設定

通話を行うモード(通話モード)として、次の3通りの方法があります。周囲の状況に応じて使い分けてください。

- ノーマルモード** → 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき (基本的な通話のしかたを参照)
- グループ呼び出しモード** → 他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき  
チャンネル番号とグループ番号が一致すると通話ができます
- 秘話モード** → 他の人に通話を聞かれないとき

### ■通話モードを切り替える

[MODE/ **Om**] を押すたびにモードが切り替わります。  
・初期値はノーマルモードに設定されています。



### グループ呼び出しモード

#### ■グループの設定

運用する前に仲間同士で同じグループ番号に設定します。

初期値は「01」に設定してあります。

- [MODE/ **Om**] を押してグループ呼び出しモードにする。  
現在設定しているグループ番号が表示されます。
- [MODE/ **Om**] を押しながら [▲] を押す。  
グループ番号が点滅します。
- [▲] または [▼] を押してグループ番号を選ぶ。  
GP-01 ~ GP-38 (38通り) から選択します。



グループ番号

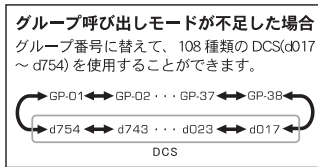


- [通話 (PTT)] を押す。  
設定が終了します。



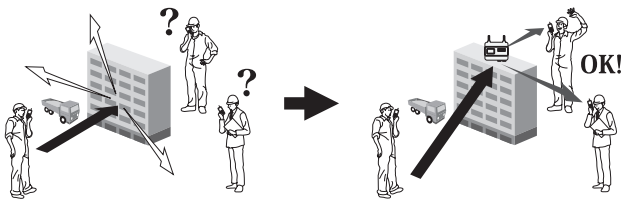
#### ■通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に通話します。  
補足: 他人の通話が聞こえる場合は、グループ番号を変更してください。



## 中継機能 (通話距離をのばすには)

途中にビルなどの障害物がある場合や、相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、当社対応の中継器を中間点に設置することにより、通信範囲が広がります。  
なお中継器の詳細については、お買い上げいただきました販売店またはモトローラ・ソリューションズ株式会社 PCR 事業部にお問い合わせください。



注意: 中継器を介した場合は、下記の機能を使用することができません。

- ・コールバック機能
- ・セレコール機能
- ・自動チャンネル選択機能
- ・クローン機能

#### ■中継機能を設定する

下記の操作を行うと、中継機能用のチャンネル(合計 27 チャンネル)が追加されます。

- [**On**]/[CH] を長押しして電源を切る。
- [▲] を押しながら [**On**]/[CH] を押し、電源を入れる。  
中継機能用のチャンネルが追加されます。
- [**On**]/[CH] を短押しして、チャンネル設定モードにする。
- [▲] または [▼] を押して、中継器のチャンネルに設定する。

01, 02, 03...20 通常のチャンネル

21, 22, 23...47 中継用 27 チャンネルが追加される

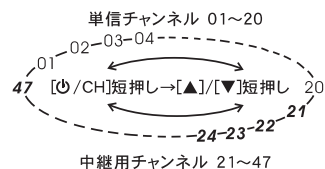
#### ■設定を解除する

- [**On**]/[CH] を長押しして電源を切る。
- [▲] を押しながら [**On**]/[CH] を押し、電源を入れる。

#### ■通話のしかた

- [▲] または [▼] を押して、中継用チャンネルの中で中継器と同じチャンネル番号にあわせて通話します。
- “基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

補足: ● グループ呼び出しモードを使用することができます(中継器と同じグループ番号にあわせてください)。  
● 当社指定の中継器のみ使用可能です。



## 秘話モード

秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。

秘話モードは、ノーマルモード、グループ呼び出しモードのどちらでも使用することができます。

- 注意: ● 仲間同士以外でも、同じチャンネルで秘話機能を動作させていれば、通話内容を聞かれる場合がありますので、重要な内容の発信は控えるようにしてください。  
● 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違うと、発信できない場合があります。  
● MS50/MS80 シリーズのトランシーバーと通話をする、音ずれがおきる場合があります。  
● MS50/MS80 シリーズ以外のトランシーバーと通話をする、音色が異なる場合があります。

### ■秘話モードに切り替える

“秘話”が点灯するまで、[MODE/ **Om**] を何度か押す。 秘話機能 “ON”



ノーマル+秘話モードの場合



グループ+秘話モードの場合



#### ■通話のしかた

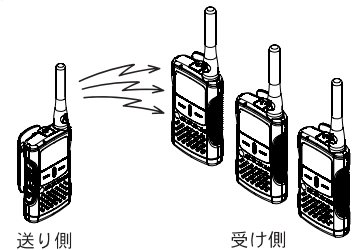
“基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

## クローン機能 ~同じ設定に複製する~

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。クローン機能の設定は「取扱説明書(詳細版)」を参照してください。

コピーできる設定内容は下記ようになります。

- 現在設定しているチャンネル/グループコード / DCS コード
- 現在設定している通話モード (ノーマル/グループ呼び出し/秘話)
- セットメニューの設定内容



## セットメニューの操作

各メニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

- [**On**]/[CH] を長押しして電源を切る。
- [MODE/ **Om**] を押しながら [**On**]/[CH] を長押しして、電源を入れる。  
セットメニューの “cb-xx” が表示されます。
- [MODE/ **Om**] を押すたびに、セットメニューが切り替わる。  
設定したいメニューを選択します。  
例: “Sc-xx” を選択
- [▲] または [▼] を押して、点滅している設定項目を選択する。
- [通話 (PTT)] を押す。  
セットメニューの設定が終了します。



補足: [通話 (PTT)] 以外に電源を切っても、セットメニューの設定を終了することができます。

## セットメニュー一覧

表示	設定項目	選択項目	初期値
cb-xx	コールバック機能 (通話可能か常時チェックしたい)	OFF/ON	OFF
Sc-xx	スキヤン機能 (自動で受信信号を探す)	OFF/ON	OFF
bp-xx	ビーブ音の ON/OFF (ボタン操作の確認音)	ON/OFF	ON
tb-xx	送信ビーブ音の ON/OFF ([通話 (PTT)] を押して送信を始めた際に電子音が鳴る)	OFF/ON	OFF
LE-xx	送信 / 受信インジケータの ON/OFF	ON/OFF	ON
LP-xx	照明ランプの設定 (OFF にするとディスプレイの照明が常時消灯)	2/OFF	2
AP-xx	オートパワーオフの設定 (2時間操作しないと自動で電源が切れる、切れ忘れ防止)	OFF/ON	OFF
cs-x	コールサイン機能 (電子音の数で相手局を識別するコールサイン機能)	1 ~ 5	1
Pd-xx	PTT デイレイ機能 (受信から待ち受け状態になる時に発生するノイズ「ザー」をカット)	ON/OFF	ON
tp-xx	受信専用モードの設定 (ON にすると [通話 (PTT)] を押しすぎると送信しない)	OFF/ON	OFF
Pt-xx	PTT ホールド機能 (ロック型の [通話 (PTT)] に変わる)	OFF/ON	OFF
EG-xx	外部マイク感度切替え (数字が大きくなるほど感度が大きくなる)	1 / 2 / 3	2
oc-xx	VOX 機能の ON/OFF (話し始めると自動で送信、話をやめると待ち受けになる)	OFF/ON	OFF
dl-xx	VOX 感度設定 (数字が大きくなるほど感度が大きくなる)	1 ~ 15	9
or-xx	VOX 遅延時間設定 (話をやめしてから待ち受けの状態に戻るまでの時間)	0 ~ 15	5(約0.5秒)
Ac-xx	自動チャンネル選択機能 ([通話 (PTT)] を押すたびに自動で空チャンネルを探す)	OFF/ON	OFF
SG-xx	セレコールのグループ設定 (グループで呼び出す)	G0 ~ G9	G0
Sr-xx	セレコールの呼び出し音送設定 (呼び出されたときの着信音を設定する)	1 ~ 3/OFF	1
cl-xx	クローン機能 (複数台数ワイヤレスで同じ設定に複製する)	OFF/ON	OFF
PS-xx	ワンタッチ音量変更 (受信時 PTT のワンタッチで音量を一時的に変更する)	PT / - / +	PT
IA-xx	内蔵マイクの ON/OFF (外部マイク接続時にトランシーバー側の [通話 (PTT)] を押したときの内蔵マイクを動作するか、または動作しないかを設定する)	OFF/ON	OFF